



ふくろう通心



フェアトレードを知っていますか



私たちの大好きなチョコレート。でもチョコの原料カカオ豆の産地は、開発途上国の熱帯林地帯です。そこでは、収入が少なく農家が貧困から抜け出せなかったり、子どもが学校にも行けずに働かされたりしています。働く人や自然環境に配慮し適正な価格で買い取ろう、というのが **フェアトレード(公平貿易)** です。

今、世界フェアトレード・デーなどが開かれ、企業や人々の関心を集めています。すぐそばの困っている人を助けるのも大切ですが、国際フェアトレード認証ラベルのある品物や協賛企業のフェアトレードの商品を買うことで、地球の裏側の人を守ることに繋がるといことは、すばらしいことではありませんか。

～ フェアトレード商品を専門に扱っている店舗があるということで

十和田市に行ってお話を聞いてきました ～

店主の宮崎さんのお話

- ◎海外協力に興味を持ち、国内で海外協力できるのがフェアトレードだと思って始めた。
- ◎自分の所からでも発信、参加できる海外協力だと思ふ。
- ◎認証マークがなくても、買い叩いていない商品や、生産者が安定した生活ができる商品はフェアトレード商品と同等だと思って扱っている。

フェアトレード商品の種類

認証マークのある商品として、バナナ、マンゴーなどの果物、コーヒー豆、紅茶、チョコレート、はちみつ、ワイン、サッカーボールなど多岐にわたります。

チョコレートは、添加物など余分なものが使用されていないので美味！カカオ本来の味が楽しめるファンが多いようです。



〈 紅茶 〉



〈 チョコレート 〉

十和田市の店舗で「フェアトレードビーズ」を購入しました。お手頃価格で自然な風合いが魅力的です。

ビーズ一個一個に、その国の方たちの生活の安定があるかと思ううれしくなります。



フェアトレードビーズとは・・・

北インドのブルーデルプールという町に、低いカーストに属する人たちがビーズを作っている集落があります。インドのビーズ業界は、大会社とブローカーが大きな力を持っていて、職人さん達は不利な条件で労働しているため生活が不安定でした。そこで、NGO タラ・プロジェクトの支援を受けて、彼らは支払いを保証され、安心してビーズを作ることが出来るようになりました。

愛用者の声 (弘前在住)

もともと自然なものが好きで、色々なお店に立ち寄っていました。通販雑誌からフェアトレードを知り、4年前から購入しています。

クリームを使ってみて、現地の人が使っている自然な物だと思ふと心地いいです。



〈紅茶・クリーム・チョコレート〉

市内でもフェアトレード商品を見つけることができます。皆さんも買い物からマークや商品を探してみたいはいかがでしょうか？



続けてきた清掃ボランティア 聖康会病院デイケア「ぶどうの樹」

5月のある日、「ぶどうの樹」のごみ拾いを取材しました。近くにある長四郎公園と公園までの道端を、利用者と職員など10数名で、手には軍手とデレキ、頭には麦藁帽子のいでたちで約一時間汗を流しました。

月に一度(雪の日や雨の日は中止)9年間続けてきたということです。精神に障がいを抱えながら、みんなで励ましあって続けてきたというのはすばらしいことだと思います。

参加した利用者の方々にお話を聞いてみると、「外での活動は心が晴れ晴れする」「ごみ拾いが好きという訳ではないけれど、協力するのはうれしいこと」「続けてきてよかった」と話してくれました。

心も空も五月晴れの日でした。



街で見かけたちよこつとボランティア

御年81歳のMさんの日課は「散歩」だそうです。

お医者さんから毎日の散歩を勧められ、「ただ歩くだけでは…」とゴミ拾いをするようになって10年以上になるといいます。今では足腰も弱り、散歩も大変なご様子ですが、奥さんの心配をよそにゴミ拾いの意欲は衰えておらず、その姿に頭が下がります。

散歩で健康になったとおっしゃるMさん、これからもお元気で続けていただきたいと願っています。

ベンチに雪だるま型の穴？

可愛らしい穴…何に使うのか？
実はつえや傘を立てるためのもので、「置き場所に困らず便利」と好評。

元寺町(通称桜大通り)にある市民中央広場に行くとお目にかかれるのでお買い物や散歩の際ちよつと寄ってみてはいかがでしょうか…



豆知識

フルーツポンチのポンチって何？

フルーツポンチが美味しい季節になりましたね。フルーツポンチの「ポンチ」は「パンチ」というインドのカクテルの名前からきています。又、ヒンディー語で「5」という意味があります。

カクテルの材料は

①水②砂糖③酒④レモンジュース⑤スパイス(ミント等)を混ぜ合わせたものです。そのカクテルにフルーツを入れたものが「フルーツパンチ(ポンチ)」なのです。

日本では、喫茶店のメニューとして親しまれ、インドではカクテルとして飲まれています。

日本とインドの文化の違いをこの夏感じてみませんか？



編集後記



ボランティアを始めたいと門をたたいた初日、私の体に電流が走りました。スタッフの方が「フェアトレードって知ってる？」人生で初めて聞いた言葉。「取材させてください」と私からお願いしました。

ここから私の《ふくろう通心》への楽しい活動が始まります。毎週金曜日が待ち遠しくなりました。

ボランティアスタッフ:阿保香月

<製作> 市民ボランティアスタッフ <製作協力> 弘前市ボランティア支援センター
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター2階
TEL:38-5595 FAX:36-1822
HP: <http://www.hi-it/~vsc>

情報紙についての意見・感想をお待ちしております。